

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
Tel. 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

発注者責任で適正単価の確保を 県が現場で実態調査に取り組む

8月2日、今年も栃木ダンプキヤラバン行動として、栃木県と栃木県警本部にたいして要請行動を行いました。

今年で26年目となるこの行動は、組合員が現場の声を県、県警に直接訴える重要な取り組みです。

午前中は県警本部交通指導課への要請を行いました。

2年前国会で過積載の背後責任問題が取り上げられました。県警では従来よりも積極的に荷主、荷受人も含めて過積載事案に取り組んでいることが報告されました。

組合員からは「依然として不公平感の残る取締りが見受けられる。特に近年残土を産廃専

用車に満載して高速道路を走行しているダンプが増えている。ひとつ間違えば一般車両を巻き込んだ重大事故に

地場産業壊滅の危機に

午後からは栃木県への要請を行いました。

県では毎年各土木事務所が、発注工事現場で直接ダンプ労働者から単価などを聞き取る実態調査に取り組んでいます。

今年5月に代車39人、運転手26人から聞き取りをしたことが報告されました。県は毎年労務費単価

なる」「不適正な残土処分など、市民生活にも悪影響を与える事案について積極的に対応してもらいたい」と指摘しました。今後交通安全を実現する立場で、情報交換を密にすることを確認しました。

を引上げており、この取り組みをさらに強めるよう要請しました。

県が採掘許可権をもつ砕石工場での立ち入りパトロールの強化等も報告されました。組合員は「砕石は県の地場産業。高齢化によって運び手がいなくなれば壊滅する」と訴え、労働環境の改善を求めました。

8月6日、東京都へリンピック関連工事などの要請を行いました。ど、都内から膨大な残土が地方に搬出されて

65歳以上の組合員対象 適齢診断の受診を開始

運送事業者(青ナンバ)に義務付けられている65歳以上のドライバーにたいする「適齢診断」。組合での自主的な取り組みをはじめました。

7月28日(日)、鹿沼市にある「とちぎ安全教育センター」で、工藤委員長と石川副委員長が受診しました。

診断はコンピューターの画面に表示される指示に従って進められます。まず「視覚機能測

定」が行われ「動体視力」「眼球運動」「周辺視野」など、自分では自覚しにくい機能が

測定されます。その後シュミレーターを使ってハンドル、アクセル操作などを行い運転特性が測定されます。受診後カウンセリングも行われます。



工藤委員長「普段あまり意識していないことを自覚する機会になると思う」
石川副委員長「操作感覚が違いむずかしい。一度は受けたほうが良いと思う」

東京都内からの建設残土 元請責任で適正処分を

8月6日、東京都へリンピック関連工事などの要請を行いました。ど、都内から膨大な残土が地方に搬出されて

には不適正な処分も含まれ問題になっていきます。地方が都市の犠牲になる構図です。組合では、発注者(元請)責任を明確にした適切な残土処分が実施されるよう求めています。

とところが最大の残土発生自治体である東京都は、この要請にたいして「所管する部署がない」として回答を避けました。極めて無責任な姿勢です。あらためて追及する予定です。



栃木県警本部への要請



栃木県への要請



都本部と関東ダンプ合同で東京都に要請

◎東京地区生コンクリート協同組合、埼玉中央生コンクリート協同組合、佐野警察署、栃木県砕石工業協同組合にも要請、意見交換を行いました。

巻き込み警報装置 大型車は義務化に

国土交通省は8トンを超える大型トラックに、左折時の巻き込み警報装置の搭載を義務化することを決定しました。



国土交通省は過去10年間にあった左折時の自動

車巻き込み事故を調べたところ、死亡事故の9割を8トン超の大型車が起こしていたことが判明しました。

巻き込み警報装置の仕組み

いまから40年前、組合員の運転するダン

に自転車の母子3人を巻き込み死亡させる事故が起きました。

事故後①サイドミラーの大型化とアンダーミラーの増設②サイドバンプの改良③車体側面の方向指示器設置や警報音の義務化など、様々な車体について安全対策が行われました。

しかし、この10年だけで自転車の巻き込み事故は7584件、死亡事故は149件発生しています。

義務化は2022年以降販売される新車が対象の予定、車体レーダーが自転車を感知し警報音などで知らせる仕組みになるようです。

地から届けられる背景についても、考える機会にもしたいと思えます。

軽貨物ドライバーも組合への加入を

ネット通販の増加により、軽貨物個人事業主が増えています。確定申告、労災、自動車(貨物)保険やコーポレートカードなど、軽貨物の人にも様々なメリットがあります。ご紹介ください。



大量の野菜を運搬するウイング車



佐野ラーメン放浪記 [25]

【東北道佐野SA】



荒井さんご家族。お客さんとのやり取りも屋台の魅力「このもつ煮が楽しみ」と話す高齢女性客も。

県内各地で大規模商業施設ができ、昔からあった市街地の商店街が「シャッター通り」になっていきます。上三川町では昔の活気を取り戻そうと、四月〜十一月の毎月最終木曜日十八時から地域イベント「城址ナイト」を開催しています。

荒井さんと奥さん娘さんの三人で、次々来るお客さんの対応に忙しかつ、お疲れの様子。このイベントが各地であれば町が活性化するとともに、仲良し家族なのと評判のもつ煮と唐揚げ、隣で焼いていた本格ピザまでごちそうになりました。



地元の人たちの交流の場になっている「城址ナイト」

お盆のストライキで一躍有名になった東北道佐野SA。8月20日の時点ではまだレストランは休業中、フードコートもラーメンのみの営業でした。今回初めてSAの佐野ラーメンを食べました。味はともかく、急遽動員された感だとうる店員さんにエールを送りました。ストライキの是非についてはコメントを控えますが、ネットの無責任な書き込みについては言いたくない。親会社K建設の経営状態について、ネットで様々な情報が乱れ飛んでいます。面白半分では煽っている連中もいます。会社の体質がどうであろうかと、そこで働きたいと、そこで働きたいと、風評倒産を自分自身で考えるべきです。